

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

A 一般型

No. 1030018

通常評価

I 事業の概要

I - 1 事業の概要

事務事業名	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアーアー」	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部循環企画課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-5-0-0-0_48.html	(連絡先)	213-4930
		(評価票作成者)	循環企画課長 牧村 雅史

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 充実	24予算額 (千円)	目標達成度評価												
				指標：バスツアー実施回数												
1,756	3,100		3,100	かなり悪い	悪い	普通	良い	かなり								
		□ 直営 ■ 部分委託 □ 部分補助等 □ 全部委託 □ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 委託先：エムケイ観光バス株式会社、大型バス運行業務	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	110%	120%
				H20年度												
				H21年度												
				H22年度												
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画～京のごみ戦略21～ 京都市循環型社会推進基本計画（2009～2020）	事務事業の性格	□ 義務的事業 ■ 任意的事業													
開始時期	平成 20 年度 終了(予定)時期	会計区分	3 イベント・講座・普及啓発													
	平成	年度	平成	会計区分	■ 一般会計	□ 特別会計										

事業概要	対象	(誰を、何を) 市民及び地域団体
	活動内容	(どのような手段で) 暮らしに身近なごみ問題を見つめ直し、市民のさらなるごみ減量や分別・リサイクル意識の高揚を図るために、ごみ処理・再資源化施設の見学会のバスツアーを実施する。
	目的	(どのような状態にしたいのか) ごみ処理・再資源化施設の見学会の実施により、ごみ問題を身近に考え、ごみ減量を通じて現在のライフスタイルを変革するきっかけと/orしてもらう。

I - 2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)		1,593	1,756	3,100	3,100
		需用費 (燃料費、チラシ・ポスター等印刷費)		107	176	570	570
		通信運搬費				30	30
	①'	委託料 大型バス運行業務		1,486	1,580	2,500	2,500
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)		93.3%	90.0%	80.6%	80.6%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)		8,004	5,640	6,673	7,083
		職員(課長級) (人)		0.08	0.06	0.05	0.05
		職員(課長補佐級、係長級) (人)		0.21	0.14	0.14	0.14
		職員(係員) (人)		0.58	0.43	0.57	0.62
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+③) (千円)		9,597	7,396	9,773	10,183
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)		1,593	1,756	3,100	3,100
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料、手数料等) (千円)					
		その他(基金繰入金) (千円)		1,593	1,756	3,100	3,100
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)		8,004	5,640	6,673	7,083
	⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

II 評価結果

事業名

環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H 22 年度	H23年度	H24年度	
指標1	バスツアー実施回数	目標値 …①	回		51	70	100	100	
		実績値 …②	回		53	64			
		目標達成度 (②÷①)	%		103.9%	91.4%			
指標2	バスツアー参加者数	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	かなり良い	良い			
		目標値 …①	人			1,400	2,000	2,000	
		実績値 …②	人		1,109	1,324			
		目標達成度 (②÷①)	%		#DIV/0!	94.6%			
分析	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	#DIV/0!	良い				
			総合評価			良い			
	指標の選択理由				目標値設定の考え方				
指標1	事業の規模の大きさやその効果を示すのに、バスツアー実施回数を挙げるのが最も適切であるため				当事業の予算上の制約と施設側の受入可能回数の制約とを考慮した中で、実施可能数の最大値を目標値として設定した。				
【指標変更の有無】	□ 有 ■ 無	指標名		適用年度		単位			
指標2	事業の規模の大きさやその効果、市民ニーズの高さを示すのに、バスツアー参加者数を挙げるのが適切であるため				バスツアー実施回数に20を乗じた数を目標値として設定した。				
【指標変更の有無】	□ 有 ■ 無	指標名		適用年度		単位			
分析	<実績値の変動理由等> 目標は達成できなかったものの、21年度に比べ開催回数、参加人数共に増加している。								
B 効率性	No.	区分			単位	H20年度	H21年度	H 22 年度	
	①	バスツアー参加者数			人		1,109	1,324	
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）			千円		9,597	7,396	
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)			円/単位		8,654	5,586	
	④	単位当たり経費変動率						-35.4%	
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の活動実績が増加したため効率性が良くなった。					評価		かなり良くなった	
C 市民参加度	企画段階 □ 高 ■ 中 □ 低 □ 無	<現状分析、今後の方針等> オーダーメイド型エコバスツアーについては、参加者の意向を踏まえ、見学施設を決めている。							
D 市民満足度	<調査の有無> ■ 有 □ 無 □ 該当しない	<調査結果、現状分析等> ツアーアクティビティごとにアンケートを行っている。施設見学の内容や解説が分かりやすかったと概ね好評価をいただいている。							
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	<調査方法> アンケート <調査時期> ツアーアクティビティ	<現状分析、今後の方針等> 当事業は、施設見学を通じて、環境意識の啓発に繋げる事業である。							
平成23年度の実施状況	平成23年度12月末現在で、実施回数49回、参加人数987人に達している。								
市会・監査・外部機関等からの指摘									

III 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)

充実

暮らしに身近な問題を見つめ直し、市民の更なるごみ減量や分別・リサイクル意識の高揚を図るために絶好の機会であり、参加者のほとんどから、「良い内容のツアーアクティビティであった」と評価をいただいている。平成24年度からは、「産廃施設見学会」と融合し、市民の更なるごみ減量意識高揚につなげるとともに、事業運営に当たっては、エコまちステーションと連携し、地域での参加希望者を掘り起こしていく。